

第11回総務企画専門委員会 議事録（概要）

1 日時

平成31年(2019年)4月24日(水) 10:00～12:00

2 場所

滋賀県庁 北新館3階 中会議室

3 出席委員（五十音順、敬称略）

井上 善治 委員、上山 哲夫 委員、太田 千恵子 委員、嘉悦 和子 委員、
杼木 博子 委員、竹橋 清隆 委員、辻 睦弘 委員、中田 佳恵 委員、
橋爪 建治 委員長、原田 憲一 委員、福永 亮順委員、藤原 久美子 委員、
松澤 佳子 委員（委員定数15名中13名出席）
（欠席委員：谷口 孝男 副委員長、松永 敬子 委員）
（事務局：事務局職員）

4 会議概要

【報告事項】

(1) 開催に向けた平成31年度の主な取組等について

【質疑】

<委員>

今年度、この委員会で検討する事項は何か。

<事務局>

主なものとしては、競技会場の選定、全体会期、文化プログラム基本方針がある。

(2) 開催予定施設名の変更について

【質疑】

<委員>

YMI Tのネーミングの意味を教えてください。

<事務局>

落札会社（野洲メディカルイメージングテクノロジー）の名称の頭文字をとってYMI Tと命名。ネーミングライツの契約期間は3年間。開催までに再度変更の可能性はある。

(3) サッカーの種別変更について

【質疑】

<委員>

変更の理由と本県での開催種別について詳しく説明をお願いします。

<事務局>

現行「女子」共通種別を「成年女子」「少年女子」に分けるとともに、女子種別の変更に伴い「成年男子」と「成年女子」が隔年開催となる。滋賀大会は「成年男子、少年男子、少年女子」の開催となる。

【審議事項】

(1) 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画改正（案）について

- ・質疑なし。
- ・案のとおり承認された。

(2) 第79回国民体育大会競技施設基準改正（案）について

- ・案のとおり承認された。

【質疑】

<委員>

改正理由についてももう少し詳しく説明をお願いします。

<事務局>

オリンピック対策・実行計画に基づく競技の実施継続に伴い、水泳競技の施設基準にオープンウォータースイミングを、バレーボールにビーチバレーボールを、体操競技にトランポリンの各種目を追加する。

レスリングについては、これまで2会場に分かれてもよいとされていたが、これについて日本スポーツ協会で定める国体施設基準から削除されたため、反映した。本県においては1会場で内定しているため、影響はない。

カヌー、アーチェリーについては、競技規則改正に伴い変更した。

<委員>

目次に記載されている38競技が施設基準の対象になる競技ということか。

<事務局>

御認識のとおり。目次の1～37までが正式競技、38が特別競技で、これらの競技の基準を定めたもの。

<委員>

「オリンピック対策・実行計画」とは何か。

<事務局>

平成25年に2020年のオリンピック開催都市が東京に決定したことを受け、オリンピックの実施競技で国体では未実施となっている競技について、国体も実施するという計画である。

(3) 第79回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町第五次内定（案）**【非公開】**

- ・質疑なし。
- ・案のとおり承認された。

(4) 第79回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町開催予定施設の変更（案）**【非公開】**

- ・案のとおり承認された。

(5) 第79回国民スポーツ大会 公開競技会場地市町第一次内定（案）**【非公開】**

- ・案のとおり承認された。

(6) 第24回全国障害者スポーツ大会 会場地市町第一次内定（案）**【非公開】**

・案のとおり承認された。

(7) 第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画（第1次）（案）**【非公開】**

・案のとおり承認された。

(8) その他

<事務局>

次回の議題は、会場地内定、大会の全体会期案、文化プログラム基本方針、開催基本構想の進捗状況報告を予定している。開催する際には、日程調整させていただく。